

(科目コード : 1100820072Y3)

【改訂】第31版(2013-03-13)

【科目】国語表現

【科目分類】一般科目 【選択・必修の別】必修 【学期・単位数】通年・2単位

【対象学科・専攻】3組 2年

【担当教員】前期:植田 麦

後期:植田 麦

【授業目標】

- (1) 国語を的確に理解し、適切に表現する総合的な国語力を身につける。
 - (2) レポートを書くときに必要な表現技術や、発表をするときに必要なスピーチの技術を身につける。
 - (3) 文章表現の精確な読解を通じて認識力・思考力を伸ばすとともに、現在さまざまに話題となっている現代の諸相や社会現象を追究し、一般教養を身につける。
- 評論的文章を適切に読解するとともに、その内容を要約できる。
適切な日本語表現に基づき、論理的な文章を書くことができる。

【教育方針・授業概要】

- ・読解(1)知識の扉
 - (2)恐怖とは何か
 - (3)ゆらぐ科学のリアリティー
- ・表現(1)文章作成の基礎的実践
(主題の選定、パラグラフの意味、文章の構成、参考文献の付け方、推敲の方法)
- (2)相互批評の基礎的実践(全体相互批評、各自相互批評)

【教科書・教材・参考書等】

教科書:『論文の教室』:戸田山和久:日本放送出版協会

教科書:国語総合(現代文編):大修館書店:978-4-469-62270-6:昨年度1年生使用教科書

教科書:『常用漢字フォルダ』:浜島書店:昨年度1年生使用教科書

その他、授業の進展に応じてプリント教材を配布する。

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

必要に応じて視聴覚機器を使用する場合がある。

【メッセージ】

2年生の国語表現は、「読むこと」と同時に「書くこと」を意識した授業を行います。

【成績評価方法】

[前期]中間試験:40%,期末試験:40%,レポート:10%,漢字テスト(10%)

[後期]中間試験:40%,レポート:40%,漢字テスト(10%)、課題・提出物(10%)

【授業計画】(国語表現)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
1	授業概要	国語表現学習の目的と意義を説明する。また授業に臨むにあたって準備すべきことを指示する。		
2-4	読解(1) 「知識の扉」	読解教科書より「知識の扉」を講読する。「文字」や「言葉」から知識を得ることと、その媒体について考える。		漢字テスト
5-7	表現(1) 論文とは何か わかりやすい文章を書くために	教科書『論文の教室』第1章から第3章を読み、「論文とは何か」を詳細に確認する。また第8章を読み、「わかりやすい文章を書くために」意識する必要がある事項につき、例題や練習問題を繰り返しながら確認する。		漢字テスト
8	中間試験			
9-13	読解(2)「恐怖とは何か」	読解教科書より「恐怖とは何か」を講読する。感覚を客観的に分析する方法を学ぶ。	夏期休業期間レポート	漢字テスト
14-15	表現(2) 剽窃問題 参考文献の付け方	教科書『論文の教室』をもとに、剽窃問題などを確認し、参考文献の意義ならびにその方法を学ぶ。		漢字テスト
16-19	読解(3)「ゆらぐ科学のリアリティー」	読解教科書より「ゆらぐ科学のリアリティー」を講読する。科学が万能ではないことを理解した上で、これからの社会の展相がいかにありうるのかを考える。		漢字テスト
20-22	表現(3) 全体添削 全体相互批評	「夏期休業期間レポート」より数編を選び、文章の構成を確認し、文章を推敲する演習を実施する。また、その文章をもとに読解(3)の意義を再確認する。		漢字テスト
23	中間試験			
24-25	「論」の構成	所与のテーマから、問題点の発見と論の構築についての基礎的方法を学ぶ。	提出準備レポート	漢字テスト
26-28	「語」と「文」の書き方	「語」と「文」の書き方について、誤りやすい例を用いたケーススタディの学習を行う。		漢字テスト
29	提出準備レポートの相互確認(各レポート2名)	「提出準備レポート」について、誤字・脱字といった表記レベルから内容・構成にいたる「論」としての全体までを、相互に確認する。		漢字テスト
30	提出レポートの清書	相互確認の結果を承けて、後期成績評価にかかるレポートの清書を行う。		漢字テスト